

⑧ 湘南学園梶原幼稚園

1968(S43)~1988(S63)

湘南学園は1933年藤沢市鵜沼に開校した。当初は幼稚園と小学校であったが、現在は幼、小、中、高校の男女共学の総合学園である。

鎌倉市梶原に野村不動産が開発した梶原団地ができ、地元住民による幼稚園開設の強い要望により、湘南学園梶原幼稚園(梶原 2-34-1)は68年開園した。



湘南学園梶原幼稚園の園舎

保育の形式は一斉の形式を必要最小限にとどめ、子どもの生活意欲や自発性に信頼を置き、それらを伸ばすことを基本とした。生活や遊びの中から

生まれる疑問や発見、仮定や推測のプロセスをじっくり見守り、子ども自身が目標や課題を自覚できるよう、自由な保育を目指す形態をとった。

その一方基本的な生活習慣・技術の習得・身体の安全・落ち着いた相互の話し合いなど、教授すべき事柄や、規律を培うことは皆で一緒に学んだ。



葛原が岡へ遠足

園での生活は、山の自然が保全されている環境の利点を生かしたもので、入園して初めての行事は葛原が岡への遠足である。

年長組の園児が年少組の手を引き丘の上まで登った。さつま芋ほりで園庭に山と積み上げられたお芋、それを焼くための落ち葉拾いなど、自然の中で園児たちは伸び伸びと幼稚園生活を楽しんだ。

保育としての体育指導は、学園体育部による幼児体育の指導を保育の中に導入し、保育現場と専門性を持つ体育指導者により実践され、健やかな体づくりを目指し、梶原幼稚園の伝統になった。

しかし第2次ベビーブームで乱立した幼稚園間の過当競争、母親の社会進出が増え保育園への児童の移行、親の幼稚園選択の価値観の変化などがあり、出生率の減少に伴い経営は困難になってきた。

継続のための対策が色々講じられたが、設備の老朽化などにより88年3月末を以て閉園した。